



第12回 稲門建築会特別功労賞(奨励)

森川嘉一郎氏 (苗H07) 明治大学国際日本学部准教授

表彰理由:

森川嘉一郎君は早稲田大学建築学生時代の頃から、優秀な学生でありました。優等生的な意味での優秀さはもちろん、独特な個性を所有した学生でした。早稲田建築生の優秀な者の多くが、個性豊かで、独自の才質の所有者であるのと比較して、森川君は実に自分というモノの薄い、それゆえ、何者にもなれる如しの空虚さを同時に所有しておりました。この才質はきわめて現代的な特質でもあり後になって知るのですが、ともかく、新新人類ならぬ、本格的な新世代に特有な基本を所有しておりました。研鑽を重ね、論文をまとめたエッセイ『趣都の誕生 萌える都市アキハバラ』(幻冬舎・2003年)は大ベストセラーとなり、今の秋葉原ブームの発端のひとつでもありました。また、イタリアのヴェネチア・ビエンナーレ建築展のコミッショナーとして展示計画の責任者となり、一定の成果を上げることもしました。これからの日本が本格的国際化社会を迎えるにあたり、同君の才質は、これまでの早稲田建築にはない独特な世界を切り拓くものになると大きな期待を寄せています。よって、ここに稲門建築会特別功労賞(奨励)を授与し、一層の励みとなることを心から望む次第です。(推薦者:石山修武)

略歴

- ・1997～2000 早稲田大学大学院博士後期課程
- ・1999～2001 早稲田大学理工学総合研究センター助手
- ・2003～現在 同センター 客員研究員
- ・2003～2008 桑沢デザイン研究所特任教授
- ・2004 ヴェネチア・ビエンナーレ第9回国際建築展 日本館コミッショナー(星雲賞受賞)
- ・2008～現在 明治大学国際日本学部准教授



『趣都の誕生 萌える都市アキハバラ』



現在推進役を担っているマンガ専門図書館の準備風景

ヴェネチア・ビエンナーレ第9回国際建築展日本館展示 『おたく:人格=空間=都市』

